



寄附しよう みんなの人生を豊かにするために

【第1534回例会次第(2022年3月第3回)】

日時:2022年3月28日(月) 12:30～
会場:ANAクラウンプラザホテル米子
(3月) 水と衛生月間

1. 開会点鐘
2. 「それこそロータリー」斉唱
3. 来賓及びビジター紹介
4. 会長挨拶
5. 幹事報告

- A. 例会変更のお知らせ ビジター受付
- 境港RC……………3/29(火) 休会 なし
 - 米子東RC……………3/30(水) 休会 なし
 - 米子中央RC…3/31(木) 休会 なし

B. その他

6. 委員会報告

- A. 親睦・出席委員会
出席報告・スマイル発表・会員誕生日・
事業所創立記念日
- B. その他

7. 【卓話】 「未来を”つくる”美術館
鳥取県立美術館の整備運営の概要について」
鳥取県教育委員会事務局
美術館整備局長 梅田雅彦 氏

8. 閉会点鐘

お 知 ら せ

- ・3/28(月) 13:45～ 新旧クラブ協議会
ANAクラウンプラザホテル米子
- ・4/11(月) 13:40～ 定例理事会
ANAクラウンプラザホテル米子
- ・4/16(土) 13:30～ 第1・第2グループ合同 I M
境港市文化ホール
- ・4/24(日) 10:30～ 地区研修・協議会
音楽文化ホール・ベルフォーレ津山

今後の米子南RC例会			
日 時	第 回例会	内 容	場 所
4月 4日(月)18:30～20:30	第1535回 (4月第1例会)	花見例会	ろんじん 松江本店
4月11日(月)12:30～13:30	第1536回 (4月第2例会)	【イニシエーションスピーチ】黒田明宏、眞崎信行	ANACP ホテル

RI会長:シェカール・メータ(インド) 地区ガバナー:岩崎陽一(鳥取西RC)
会長:坂口元昭 幹事:中津尾直己 雑誌・会報:廣谷栄一

【第1533回例会記録(2022年3月第2回)】

日時:2022年3月13日(日) 10:00～
会場:南の森、雪花荘
出席率 64名[内免除15名] 中29名 59.18%

【南の森例会】 於:南の森、雪花荘



南の森でしいたけ収穫作業、歴代会長が植樹された桜への肥料散布を行いました。時期が少し早かったのかしいたけの生育は今ひとつで、あまり収穫できませんでした。寒さ厳しかった冬が過ぎ春の訪れを感じさせる穏やかな気候での作業でした。その後、大山の雪花荘に移動して例会、昼食はジジスカン料理を満喫。ほんの少しでしたが収穫したいたけも美味しくいただき楽しいひと時を過ごしました。

【卓話】 「南の森」里山整備保全について

高野誠司 会員



17年前、SDGsの言葉すらなかった頃、米子南ロータリークラブ創立20周年記念行事として環境保護の一環である里山保全活動を始めました。当時、里山が荒れていることが問題になっていました。里山が荒れると山の保水力がなくなり、まとまった雨が降ると木や泥や石と一緒に流れて山が崩れてしまいます。このような泥の上に木が生えているような山が日本全国にあります。このような山には動物も住めず、里に下りて来て畑を荒らしたりして被害が出ます。そこで、米子南ロータリークラブが活動できる山を探すことになりました。山を探すことは苦勞しましたが、伯耆町役場に相談したところ町有林の利用をアドバイスされました。

(裏面へ)

現地を見に行き決めてのが本日作業した南の森です。当時の南の森は広葉樹を植林してはありましたが、雑草が生い茂りどこから手を付ければいいのかわからない状態でした。人の手で植林した山は丁寧に手をかけなければ自立ができません。特に木が若いときには手がかかりますので最初は大変でした。何年もかかってやっと今の状態になりました。2011年、東日本大震災の原発事故の影響で福島県の榎木が出荷できなくなったとき、南の森の木を伐り榎木として鳥取県のしいたけ農家に提供することができました。今の南の森には榎木に適した木が沢山育っています。今後、米子南ロータリークラブで里山保全活動をどう進めていくかですが、3年程度のスパンで考えていかなければなりません。ある程度中期的なビジョンを掲げて取り組めば「南の森」里山保全活動は素晴らしい事業になると思います。（佐藤城 記）